

3 歳児健康診査における歯科健診結果について

こども支援課

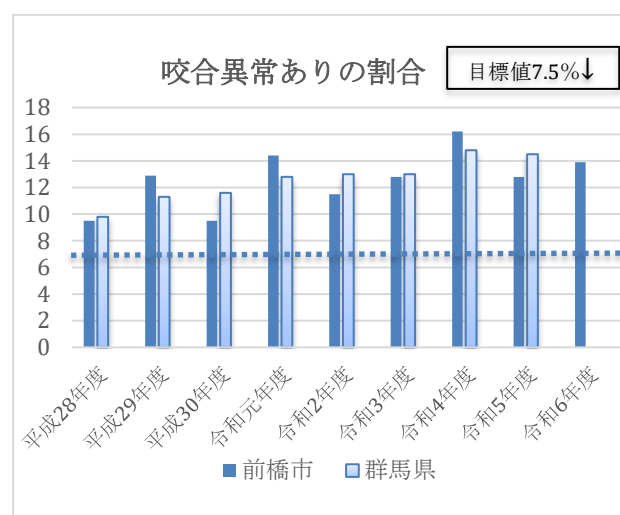
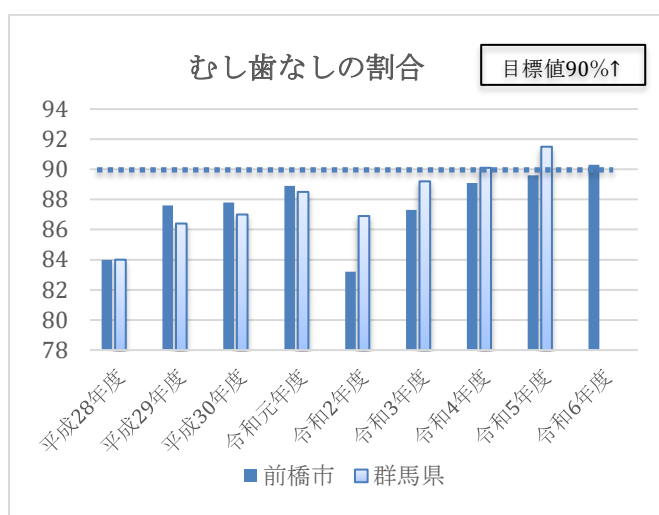
1 現状と課題

むし歯なしの割合

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	目標値
前橋市	84.0%	87.6%	87.8%	88.9%	83.2%	87.3%	89.1%	89.6%	90.3%	90.0%
群馬県	84.0%	86.4%	87.0%	88.5%	86.9%	89.2%	90.1%	91.5%	—	90.0%

咬合異常ありの割合

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	目標値
前橋市	9.5%	12.9%	9.5%	14.4%	11.5%	12.8%	16.2%	14.9%	13.9%	—
群馬県	9.8%	11.3%	11.6%	12.8%	13.0%	13.0%	14.8%	14.5%	—	7.5%



むし歯のない者の割合は、コロナ禍の影響があったと考えられる令和 2 年度を除き、わずかながら、増加傾向が継続しており、令和 6 年度は目標値の 90.0%に到達することができた。

また、咬合異常のある者の割合は、依然として群馬県の目標値である 7.5%を大きく上回ったまま経過しており、改善が見られない状況である。

不正咬合は、見た目だけではなく、咀嚼・発音・呼吸など日常生活に影響を及ぼす可能性があるため、乳歯咬合が完成する 3 歳前からの口腔機能の発達支援が重要である。

これまで、離乳食講習会および 2 歳児歯科健診等を通じて保護者への周知を行ってきたが、令和 6 年度より事業内容を見直し、離乳食講習会は月齢別に 3 回実施、2 歳児歯科健診では歯科指導に加え、希望者への歯磨き指導を開始するなど、情報提供体制の充実を図っている。

また、食生活や遊びを通じた口腔機能の支援については、家庭だけではなく保育所等の集団生活においても継続的に取り組まれるよう、習慣化の促進が求められる。今後は関係機関と連携し、支援体制のさらなる充実を図る。

2 今後の取組

令和 6 年度より、巡回歯科指導「おくちげんき教室」において、むし歯予防に加え、口腔機能の向上を目的としたお口や舌の体操に重点を置いた内容へと変更した。今後は、園所の先生方が日常生活の中で継続的に口腔周辺の体操を取り入れられるよう、令和 6 年度に作成した、体操の方法をわかりやすくまとめたパンレットを引き続き配布し、関係者の理解促進と実践の支援を強化し、現場への定着を図る。